

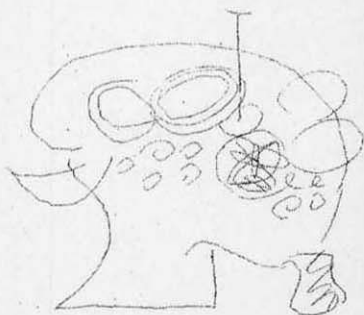
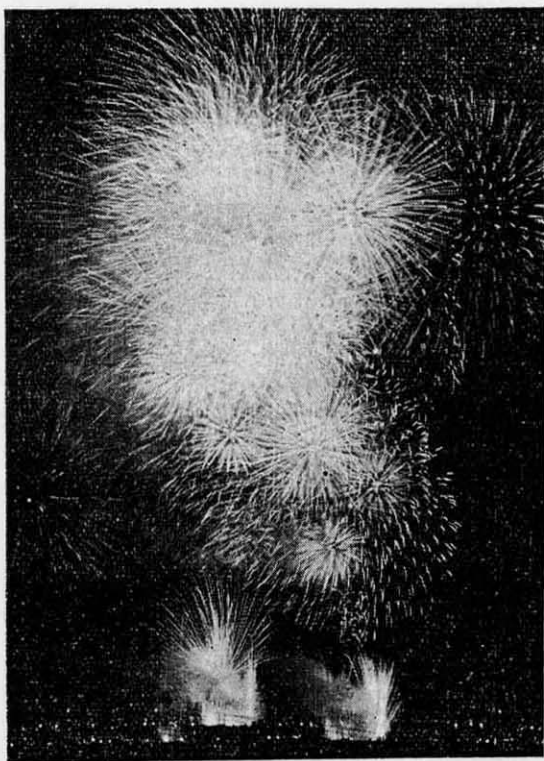
視聽覺教育

第 3 号

岡崎市小中学校視聽覺教育協会

1954

目次



◇ 教育的にしかもPTAの負担を軽く 映写機を購入する方法	甲山中	二	
◇ 映画感想文			
雪ふみ	連尺小	平野富美子	三
ならくのほどう	美川中	平岩 忠博	四
◇ 今月のスライド			五
◇ 教杖映画研究会			
社会科	六名小	渡辺尚三	六
理科	美川中	石川 博	八
◇ 教杖映画の利用を省て			
◇ 視聴覚教育半歳の回顧	内田克治		八
◇ 教杖映画「稲の一生」を使ってみて	男川小	柴田 正	一〇
◇ 視聴覚教育に於ける効果測定の一考察	神尾由男		一一
◇ 「焦点」			
視聴覚教育の所感	男川小	M・S生	一二
フィルムライブラリーの輝かしい 利用を願って	連尺小	R・K生	一三
◇ 運営委員会の動向			一三

“教育的にしかもPTAの負担も

軽く映写機を購入する方法”

甲山中 視聴覚部

毎月の講堂映画（巡回映画）は係にとつては最悪の日だ。重い映写機とフィルム、暗幕からスクリーンまで一切の映写道具を、名にし負う最高峰甲山中学の山まで運搬し、その日は、狭い映画室（図画室）にギッシリ三〇〇名をつめてこんで映写回数四回、さすが工ネルギッシュの視聴覚部員も遂に逃げだしたくなる昨今である。ましてや教林映画を利用しての学習は、未だ誰一人として手を出さず全く毎月の五円が泣いているわけである。われわれはなにも労力だけを問題にしているのではない。この準備に多くの生徒が空費する貴重な時間である。

映写機が一台あつたらなあゝと常に脳裏から離れない部員達の要望から、学区の某氏が映写機を持っておられる事を聞きこみ、早速連絡試写を試みたところ、如何せん戦時中の乱写と一世紀前の中古品では映写の機能を十二分に發揮する事ができず遂に断念せざるを得なかつた。

しかし、この機会を隙として学校を挙げて映写機購入

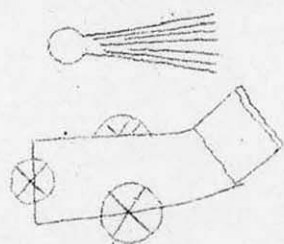
資金獲得の問題が漸次高まりつつあり、PTAの総会や学年父兄会にも取り上げられ、又一部から興業映画によって資金を貯える声もでたのであるが、安易な素人考でを行うことの愚念と、最近問題とされている映画館の關係でこれも一時見合わせる事になった。

教育的にしかもPTAに負担を少くして購入する方法はないものか、学校ライブラリー発足に刺戟されて五月上旬、PTA委員会の席上「甲山中学校PTA協力店設置案」が提出され、関係役員努力によって七月発足の運びとなつた。これは、売上金の二分を学校へ寄附して頂き、これによって学区の商店も繁昌し、一般の寄附金を軽くしようとする一挙兩得を狙つたものである。

この方法で学校へ入る金額の概算はこうだ。協力加盟店三一〇、生徒数一三〇〇、一戸平均月一五〇〇円として月四万円、一年四八万円の利潤を得ようというのだ。

これは、虫のいい机上プランで、棚ボタ式の眉ツバものであるが、この半分と見て月二万円は確実である。

未だ発足して日浅く、これが準備金の支出で学校へ入っている金はすべてこれに当てている現状であるが、われわれは、堅実な歩みにより、大きな期待をもって映写機購入の実現も努力による時の問題になつたことは、部員は勿論、学校としても喜んでゐる次第である。



雪ふみ

連尺小六年

平野 富美子

つくづく雪国はいやだなあ!と思った。この映画は、北の国の生活をうつしたものです。まっ白い雪の世界とよくいわれるように、ほんとに見渡す限りまっ白で、その上を、スキーで気持ちよくかよっていた。雪を見るのも珍らしい私は北国がうらやましい。岡崎にもこんなな雪がつもったら、スキーも雪合戦も出来る。一度でいいからつもってくれないかなあとつくづく思った。この向の日曜日にも雪はふった。始め雨がふっていたが、お昼ちよっとすぎたころからみぞれになり、そのうちに大きなぼたんゆきがものすくふってきた。大よるこびで明日は、雪合戦がやれるかなとたのしみにしていたら、夕方には、又雨になってすっかりだめになってしまった。北の国はほんとにうらやましい。でもよいことばかりではない。雪のために、めったに

外へは出られないので長い冬の間は家の中で出来る仕事をしている。なんといってもかますを織るのが一番多かった。そのお金があまり安いので家中の人が一生懸命働いて、どこの人もやっとくらしを立てていた。だから私たちみたいにあそんでいた。本を読んでいる子は、めったにない。家の手伝いで手がしもやけてぶくぶくになつて、見るにもいたいたしそうな子がたくさんいた。

それを考えれば、しもやけもなければ、あかぎれもできなない。又好きな本もあるし自由に外へ出て遊べるから北の国のような不自由はしなくてもよい。やっぱり岡崎が一番よい所だと思った。

体そのの時間には、上衣をぬがなければいけないときめられていた。ところが十人位の子が、シャツがきたなかつたり、やぶけたりにして上衣がぬげなかつた。「ぬってこい。ぬってこい」とよく先生が注意なされたけれども、お母さんたちもいそがしく、自分もぬうひまはなかつた。子供たちは、こうしたくるしい生活をそのまゝ作文にかいた。先生は、はじめてふくそうののだらしのないのがわかつた。

ふと私がなにげなく後を見たら美美代ちゃんが、「かわいそうだね。かわいそうだね」とはなをすすりながら涙をふいていた。まわりの子もみんないまにもなきそう

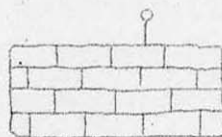
な顔をしていた。中には、ないている子もいた。

この映画の主人公良一のお母さんは、新聞くばりや、かまずおりであまりむりをしたので、とうとう病気になるってしまった。お母さんの分まで仇がなくてはならないので、学校を休んでも家の仕事を手伝ったり雪ふみをしなればならなかった。私のおさるのは、たいがいの時七時半頃、だからくらべものにならないほど早い。

ある日のこと良一がいつものように雪ふみをして行くといつもの道はちゃんとふんであった。ふしぎに思っている方をみると組の子たちが、みんなして、かけ声勇ましくなれない足どりで、もっさん、もっさん、雪をふんでいた。まずしい家の良一をたすけようと、やさしい先生もまん中に入っていたのでした。このみんなのやさしい心に良一は、どんなにはげまされたことでしょうか。

四時からおきて雪ふみをする。手や足がつめたくないかしら。人にたのまれたのでもなく自分たちが進んで助けようとしたこの子どもたちは、実にえらいなあと思つた。

こまった人、かわいそうな子、かなしがっている子があつたら、この雪国の子ともたちのように、みんなして助けあって行きたい、ダルマ学級の子はよわ虫ではないからもつともつとがんばろう。



ならくのほどどう

美川中一年 平志忠博



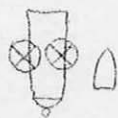
ヒロポン中毒による青少年の犯罪。日本には余りにもこの様な事が多すぎるのではないだろうか。ヒロポンはこれは外国からの密輸入品だという。良心を次々悪心に変えて行くヒロポン、ヒロポンに因して僕はそれくらいしかわからない。……純真な一高校生が悪友にヒロポンを進められる。うす暗い路地の片すみてヒロポンを売っている男達、青少年の強い好奇心から悪い事と知りながら一度位いと思う心がもち上がる。だが、それがいけないのだ。一度使ったらもうやめる事は出来ないヒロポン会う人々が、自分をあざ笑っている様に見える。又その他の物が自分を追いかけて来る様に見える。それをめぐって次々に起る殺人、盗みの数々。ぼくはあまりのおそろしさにあせんとした。けれどまだこの高校生を神は見すてていなかっただのだ。……母の手紙にやり起され良心がよみ返って来たのだ。そして通行人に乱ぼろししようと

に仲間を殺す、最後の殺人、これで又元の真人間に、純真な高校生にもどったのだ。母の手紙、温い母性愛が実を結んだのだ。けれどこういう人は少ないのではなからうか？ ほとんどの人が悪の道に入りそしてそれっきり、これからの日本をせおつて行く、青少年がこれだよいのだるうか？ 日本の青少年は意志が弱いのだるうか？ それは僕にはわからない。だが将来の日本をしょって立つ青少年がこれではいけない。……やれ自衛隊だのやれ再軍備だのといっている向があるのならこの様なヒロポンを又ヒロポンかんじやを取りしまつたらどうだるう。……ヒロポンによる青少年の犯罪を防ごう。ぼくはこの映画を見てからいつも思っている。もし僕がああ様にヒロポンを進められたらどうしたるう？ 又ああ様になつたとしても元の真人間になれていたのであるうかと。今まであまりヒロポンに關してくわしく知らなかつた僕もこの時始めてヒロポンのおそろしさを知った。

おわび

九月講堂映画プランは都合により、のせられませんでしたので、後からプリントしてお配りします。

— 社会科 —



戦争への道

(小学高・中学)

「日本のあゆみ」として同社が製作した「史物語」の第九巻に当り、題名の示す通り戦争へ戦争へと進んだ大正昭和にかけての我国を事件中心に年代を追って説いている。

今月のスライド

— 理科 —



虫を食べる植物

(小学高・中学)

数多い植物の中には根から取る栄養だけでなく、虫を食べて生活するものもある。六百余種もあるという食虫植物を、粘つけ型肉じこめ型(陥し穴式わな式)に分類し我国に生育しないものまで温室栽培によって撮影したと云われ、十八コマの色彩にまとめ上げた作品。

第一回 教材映画研究会

社会科

六名小 渡辺 尚三

学期末を目前に控えた七月十三日、暑い六名小学校の理科室で最初の研究会を行いました。

学校ライブラリーがその真価を發揮し、その重要性が多くの人達に認められ、映画が学校教育の必需品となること願いつつ熱心に話し合いました。とりあげられた教材は、五年生の「發明発見と産業の発達」についてという単元に於て、工業の進歩の意義及生産の合理化の意義を把握させる為社会科教材体系の「手工業」を使つたのであります。

本時は、「發明発見と産業の発達」の学習を六月下旬より進め整理の段階であります。整理段階に於て教材フィルムを使用し、この単元の学習の目標を強く印象づけようと意図しました。本時の過程は、工業の発達について復習し、次にそれに基づいて映画の見方について話し合いを行い「手工業」を映写しました。映写後、各自のノートに感想を記入し、次時の「工業の進歩について」の討議の資料としました。

授業後作法室に於て、南からの涼風を入れながら午前中熱心に語り合いました。話し合った事柄は多岐に亘り色々な問題は蔵しておりましたが、茲にその大要を記して皆様の御批判を頂きたいと思ひます。

映画使用の時枝について

教材映画の利用を省て

五月二六日、視聴覚ライブラリーが発足して足かけ三ヶ月。この辺で教材映画の利用状況を省みるのも意味があると思う。

一、学校別・月別使用状況	
小学校	五月 六月 七月
梅園	1 1 1
根石	1 1 1
男川	1 1 1
美合	2 2 2
岡崎	2 2 2
羽根	2 2 2
三島	1 1 1
六名	1 1 1
連尺	3 3 3
広幡	1 1 1
井田	1 1 1
附小	1 1 1
中学校	1 1 1
甲山	1 1 1
美川	1 1 1
南川	1 1 1
竜海	1 1 1
計	3 3 3

此の場合は、整理の場面に於て使用したのでありますが、これが導入の段階に使用された際には勿論取扱ひ方も異つて来ますが、この「手工業」には工業の発達という問題について多くの内容を持ち、児童はこの映画をみることによって、学習の方向を見出し、研究すべき問題を取出すことができます。

又、展開中に於ては、現在学習している問題の方向を確しかめ、整理をし、学習に対する意慾を向上することができます。

以上大まかに導入、展開、整理として話し合つたのでありますが、学習中のいかなる時段に映画を使用するかという事は、使用の目標、指導の方法等に強く影響するものであると思ひます。

● 理解の程度について

新教育に於て強く叫ばれた。「概念的な理解でなく、現実を直視し、現実の中から理解されたものこそ力強い理解である。」社会科の見学、調査等もそうしたものをねらつてゐると思はれます。こうしたねらいを達成する上に、映画の果す役割りを今更ながら再認識いたしました。

「映画は娯楽なり」との意味付の強い現在、映画を通して「思考力」を練ることを考へねばならないと思ひます。

本時についても、映写前に余り手工業、家内工業、機械工業等の區別を強調した為、折角リアルな映画を使用しながら具体的な画面からの把握の少なかつた事は残念に思ひます。

映画を見て考へる為には、一回見せるのみでは不十分であると思ひます。前に問題となつた時段であります。導入に見せ、展開に見せ、整理の

計	3	9	6	18
---	---	---	---	----

ニフィルム別使用状況

社会科教材大系

○都市と水道 5 ○流れ作業 2

○私達の学校 2 ○手工業 2

○鉄道帯化 5 計 18

百科大系(理科)

○あげはちよう 9 ○真空の世界 1

○稲の一生 7 ○手 1

計 18

備考○この集計は、ライブラリーに提出された報告書をもとにした。未報告の所もあるので、実際の回数はこちらを上廻ると思ふ。

○七月は学期末のため、授業日数は十日前後である。

○映写機所有校

梅園小学校、根石小学校

葵中学校

際に見せて考之させることによって、始めて「手工業」という映画から個性に応じた、リアルな把握と思考が出来るのではないだろうか。勿論、深い理解を望むわけですが、児童には種々な能力の差があり、個々の児童によって理解の程度は色々であります。然し、深淺の差はありますが、非常に個性的な把握をしていることは十分に認めて指導に当らなければならぬでしょう。

その他多くの問題が出ましたが、私達現場にあるものの真の力となってくれるものは、実践を通したものであることを強く感じました。小規模なもので、実践の結果を反省し、語り合うこうした研究会が数多く持たれることを切に要望いたします。

話し終って、暑さもものかわ「やるぞ」という強い意志の表れが一同の顔に漲っていました。



理科

美川中 石川 博

学期末の忙がしい時期を選び準備その他全く粗雑な授業でしたが委員各位多数御参集下さいました事を紙上に御礼申し上げます。学習に映画を利用した回数も未だ数えるくらいにして生徒も私も全く自信がありませんでした。学習内容は中学校一年生理科単元人や生物は水をどのように利用しているか、使用フィルムは都市と水道、せんたく、スライド井戸と水道

視聴覚教育半歳の回顧

内田克治

一 学習指導と視聴覚教具の利用
学習指導は学習の効果の効率が最大限であるように、生徒の学習行動を組織し運営していくことである。

この点から生活の「感覚」を各方面から十分に活用することが要求される。視聴覚教育の重視される理由もここにある。

二 感覚による教育（視聴覚）の四つの特性

第一は「容易」なことである。容易なことである。容易に理解される。

第二は「堅固」なことである。一旦覚えるとなかなか忘れない。

第三は「迅速」なことである。

第四は「簡単」なことである。複雑な手順を必要とせず、一目見れば理解される。

三 視聴覚教材に先立つもの
学校経営の立場に三つの大きな困

共に理科教材フィルムでよいものを使用した。授業を行ってみて私自身勉強し反省した点は沢山ありましたが、その中の一つだけを述べてみたいと思います。映画使用の授業で常に経験する事でありませんが、単元の構成とそこに映画の意図するものを取り入れてどの様な位置づけに於て利用したらよいか教材フィルムの数は少くとも学習に利用出来るフィルムのは数は相当沢山有ります。然しその様なフィルムを学習に於ていつどこでどんな風に何を目的として使用するかと云う事は教材研究にマッチした多くの経験が必要であります。この困難さを使用する度に痛感いたします。現場に於てはいろいろの悩みが有り子供の問題意識と映画のねらいとのマッチした時期はそういつもあるものではありませんが映画を子供に見せる前に指導書について深く教師自身が勉強しておくことが何より大切であると思いました。映写は何も一回に限った事はありません。当然生徒は見逃している点がたくさんあります。特に教材フィルム以外を使用した今回に於てはフィルム自体他に目的もあり撮影のテフニックにより向題の場面とはづれた所に強い印象を抱いてしまい又過半数の生徒は何もキヤッチしてないのが現状でありました。本日の授業は他に目的があったにしても生徒が落着いて映画を見る事の出来る時間的な余裕が無かった事、特に一時間の授業に於て学習内容に比較し映画の分量が多過ぎた事が最大なる欠点であったと思われます。この様な事はフィルムの上映個処の送定、二回上映サイレント上映等の技術的な力によりさほど困難ではない様にも思われます。先回解説をテープに録音し爾後指導に再生して使用した事がありますがかなり効果はあったと思えます。以上私の感じた点を粗雑にまとめました。最後に座談会に参加して下さった各位の御高説を列挙し御参考にしていただければ幸に存じます。

1 ライブラリーにて映画使用に便なるカリキュラムの作製が必要である。
2 自作スライド又は映画フィルムの中より必要な個処をスライドに復写し

て参考用資料にしたらどうか。
3 学校に於て映画が簡単に出来る様な設備が必要である。

紙面の都合上以下略します。

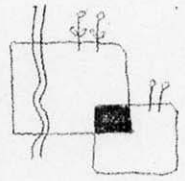
難に遭遇する。

第一は「技術」の面である。教師の誰れもが使用出来ねばならない。第二は「設備と経費」の面である。映写機・幻灯機・学校放送・フィルム・スライド・其の他附屬品、暗室装置等多額の備品設備費を必要とする。

第三は「カリキュラムとの関連」に於て教科に適切なるフィルム・スライドが少く、放送番組等の準備が困難である。

四 将来への希望

視聽覚教材の効果を認め、之を学習指導の上に実践して行こうとする。その展用の過程に於て幾多の困難と錯誤に陥りはせぬか？ 注意したいことは映画、幻灯、放送等の利用が、計画されたカリキュラムに従って活用出来る部分は十分活用され、その学校その学級の学習指導形態の一分野として、指導過程の上に考慮と工夫が払われなければならない。云うまでも「コミュニケーション」を手段とする教育一以外に教師が慮るべき重要な教育の手段方法が他に存在することを忘れてはならない。



教材映画「稲の一生」を

使ってみて

男川小 柴田 正

教材映画を利用する場合、映写前の学習により教材に對しての関心を深めておき、各々の児童に問題を見つけさせておく。しかし能力の差、関心の深淺により問題を持たない児童もあり、ヒントをはずれた問題もあり得るので、教師もある程度問題を投げかけておいてから上映に入ると効果もあると云うものである。又全児童が興味を持って、觀賞することが出来る。

さて私の学校では啓林館発行の「新しい理科」を使用しています。四年生の教科書の中に「生きもののそだち方」と云う大単元が有り、その中の小単元に「なわしる、ゆうがとう」と云うのが出て来たので学校ライブラリーのフィルムを利用したらと思ひ、同学年のＴ先生とＹ先生に話しかけてみたら同じ単元を指導していたので利用することを決定した。後で同学年の三人がフィルムに對する見当をして見た所、内容語句共に難点と思われる所が少いと意見の一致を見たので各学級ごとに映写前後の指導を学級独自で考えることにした以後は私の学級の映写前後の指導を書いたものであります。

一 映写前の指導

1. 児童がこれまで体験した事例の話し合い。
2. 教科書についての学習並びに教師の話し
3. 学校付近の田んぼの觀察
4. 全児童同一の問題を教師が指示した。
5. 上映

二 映写後の指導

1. 本映画は顕微鏡、微速度撮影によるものでありますので、スクリーンに次から次へと映し出される稲の生育状態又は稲をむしりばんで行く害虫の生態などに児童は驚異と感嘆の連続であつた。

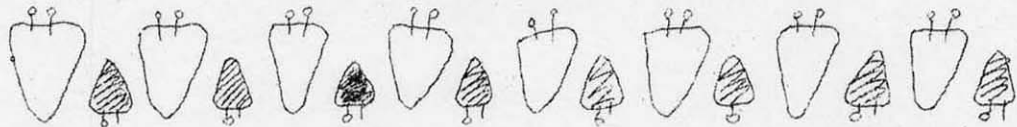
2. 上映後感想発表の形で内容の指導をした。

3. 児童の出した話しを上げて見ると次の様である。

① 発芽の状況に出穂の状況の場面には非常な感心を持つた。② 発芽後の根、葉、莖の成育の場面も始めて映画で觀て感嘆と驚異の目を見はつた様である。

③ すい虫の稲に与える害など、なぜすい虫が害虫で有るか話だけでなく映画で見て良く理解されたらしい。

以上の如く児童の意見発表後外に出た児童はさうそく校庭近くの田んぼでの觀察が始まった。そしてよく日には教室に稲の鉢栽培が始められ児童はその生育に熱中している。教師は遠くから成果を見守っている……。



視聴覚教育に於ける効果

測定の一考察

県教委社会教育課
神尾 由男

学習に於ける視聴覚的方法が確実に効果が上るのどうかはよく問題とされる所であるが、一般的に言つて効果があるとは云われるが、それでは何程上るかと言ふ事は如何にしたらわかるが、どんな方法でそれを行うかが問題となり種々論議されるが本稿に於ては効果判定の一考察として書いて見たい。

如果測定の方法には色々あるが今回は一再テスト法と有効度指数について述べよう。再テスト法とは、視聴覚教材を呈示する前後に同一のテストを課して、事前テストと事後テストの成績の差異（つまり進歩）の度合によつて学習効果の大小を測定し、それによつて、その視聴覚教材自体や使用方の効果を客観的に決定しようとする方法である。この方法は又視聴覚教材を利用した場合と利用しない場合との学習効果を比較することによつて、学習に於ける視聴覚教材の有効性を立証する事も出来る。しかし現場に於て本当に問題になるのは二種またはそれ以上の視聴覚教材の有効度の比較、あるいは同一教材に対する異つた利用のしかたの間の優劣などである。これには例え

ばスライドの場合次のようないくつかの場合を考へることが出来る。

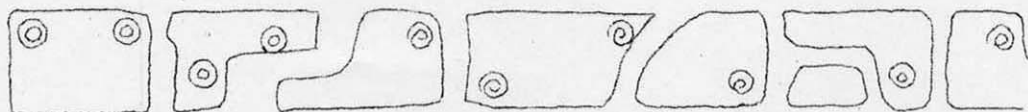
(1) 特定の主題について類似した二種のスライドが作られていて、そのどちらもカリキュラムウアリティ（妥当性）や画面効果、構成のしかたなどに甲乙なく、そのどちらを採用したらよいかについて、さらに学習効果の面から客観的なデータが欲しい場合。

(2) 特定のスライドに白黒板と天然色版（あるいは着色版）の二種が作られていてその学習効果の差異が知りたい場合。(3) 特定のスライドについて二種の使い方が考えられるとき、そのどちらの使い方がより効果的かを確かめたい場合。

このような場合にも、その効果測定の方法とて、やはり再テスト法が用いられるのである。この場合、再テスト法に使用する問題を作成する際には、映画やスライドなどの視聴覚教材自体の内容にとらわれることなく、あくまで単元の目標そのものに基づいて問題を作成していく心構えが必要である。そしてまた、このような目的のためにふつと多く用いられるのは客観テストである。ところが適当に統制を加へるならば、文章テストや作文などの方法も有効に利用しうるであらう。

ここで問題となるのは、事前テストと事後テストの成績の差、すなわち進歩の度合（





学習効果」をどのような数値で表わしたらよいかということである。

事前テストと事後テストの成績の比較は、ふつう正答率のパーセンテージの比較をもつて行われる。Aスライドを用いるAグループとBスライドを用いるBグループとともに事前、事後に同一のテストを課した場合、その正答率を例えれば次のようになったとする。

② 事前テスト 事後テスト

Aグループ 三二% 五四%

Bグループ 三一% 四〇%

この場合は事前テストの正答率が等しいからAグループの進歩二三%とBグループの進歩九%とを比較してみても明らかにAグループの方がより多く学習効果があがっており、したがってAスライドの方がBスライドよりもずっと有効であることが分るしかるに正答率が次のようになったとしたらどうであるう。

③ 事前テスト 事後テスト

Aグループ 三一% 五四%

Bグループ 一七% 四〇%

この場合、Aグループの進歩もBグループの進歩も等しく二三%であるが事前テストの成績が異なっているのであるからといってAスライドとBスライドが同等に有効であるとは云えない事は明らかである。か此の数字を如何に活用して有効であるかは紙数の

都合で次号に廻したい。



視聴覚教育の所感

男川小 M・S 生

視聴覚教育の方法がいかんか教育の効果をあげるために必要であるか。このような面をきりぬけて、視聴覚的方法によつて如何に学習指導を能率化したか。という問題が今後活発にくりひろげられる時枝に向いつつあることは周知の事である。この問題が追及されてゆかないことには、一般的に視聴覚方法を使わないより、使ったほうがよい。時と場合によつては、使わない方がより実践的でよい等と考えられ、引いては視聴覚的方法は、確固たる権威を持たないで、新教育の流行の一つのように思われ、てしまふ恐れがある。

児童がよるこぶ。自分がしゃべるよりこの方が、手っとりはやいとかが、便利である



とか、都合がよいとか等という消極的な態度で、視聴覚教材を利用するだけでなく、更に先へ進むためにおこる諸種の障礙をのりこえて視聴覚教育の重要さがびたりと胸に落ち勇氣をわかせて、明日の実践に邁進できる道を見出さなくてはならないと思う。

これがためには、只単に視聴覚教育の研究にたずさわっている一部の者に止まらず、学校長を始めとして全職員が、視聴覚教育に關して深い理解をもち、これに対して積極的な態度をもって当る必要がある。かくしてこそ始めて、所期の目的に達することが、出来ると思つて次第である。

フィルムライブラリーの輝やかなしい利用を願つて

連尺小 R・K生

視聴覚教育協会発足以来その利用は日々尊い苦心が払われていることは喜ばしい限りであり又その技術者の養成は県命であることも各校のよく知る所である如く感謝に絶えませ

ん。その焦点にある方々の御苦勞に感謝の他ありません。

今後一番重要視される利用の仕方についての研究とその苦心の困陳が望ましいものだ。

常に新しい指導に持込まれつつあるものと信じます故に切に願つてやみません。

次に利用の感想として子供達の溢る声を充分聴取してほしいそしてこそよりよい方途への前進が出来るものと信じます。

更に活用の効果をねらつての研究を發表願ひ度い技術も必要がその熱意こそ更に期待されるものである。『子供の声』の聴取についても学校の設備の状況によつて区々であるが、技術者並に指導者各位の協力と苦心によつて月々の前進を以つてよりよいライブラリーの利用と子供の期待に添う努力を念願してやみません。

運営委員会の動向

教材映画研究部

四月二四日 学校視聴覚ライブラリ

―購入フィルム選定試写会―各校視聴覚教育係及び社会科理科主任が市役所に集り、社会科大系百科大系中よりその選定に當つた。

六月〜七月 新購入フィルム各ブック試写会―市内五ブロックがブック毎に試写会を開催し、同時に社会科カリキュラムに社会科教材フィルムを挿入して配布した。

七月一三日〜七日 教材映画研究会―六名小学校及び美川中学校に於て夫々社会科、理科に教材フィルムを如何に使用するかについて研究会を開催した。

あとがき

第三号が、皆さんのお力添えで発行出来たことを心から喜んでいきます。第四号を九月末に出す予定で、折角いただいた原稿の一部を次号に廻しました。御含みおき下さい。

当面する映画教育の問題は、先づ映写機の不足にあると考えられますので、本号の編集の重点をそこにおきました。今後もしばらく此の方針を継続していくつもりであります。

尚、第二号、第三号とも本協会のことのみに終始して来ましたが、逐次アンテナを高くして、他都市ライブラリーの状況をけいさいし、会員諸氏の御参考に供するつもりであります。

残暑のきびしい昨今、自重自愛をお祈りします。

調査部

「視聴覚教育」 第三号
昭和二十九年九月八日発行
編集 視聴覚教育協会 調査部
発行 岡崎市小中学校
印刷 岡崎市明大寺町
視聴覚教育協会
ブラザー孔版社



写真の 加藤

加藤英太郎写真場

岡崎市簗田町三九
電話 2892 番

写真撮影

- ◎現像・焼付・引伸
- ◎写真技術一般

松原写真館

岡崎市六供町
(市高前興蓮寺東)
電話 260 番(呼)

- トーカー 修理
 - アンプ 修理
 - テーブーダー修理
 - 映写用電球
 - 幻灯用電球
 - シンクロ電球
- } 販売

シバタラジオ

技術部及営業部
(康生電停前 電話 931)

本ハ本文

岡崎市連尺町
藝菴 本文書店
電話二四三番

レディオ
ラジオ器



大衆堂

いつも責任のある一流品の店

電話一八八番

岡崎市康生町七七

ピアノ・オルガンは日本楽器
テレビ・放送設備はビクター、
コロムビアアナシナル
録音器は東通レコーダー

(特約店)